

我ら 50 期 ここにあり

自分にできること

新型コロナが終息していくように思われ、学校も遅れている授業を何とか取り戻そうとしている中、再び、感染者の増加が暗い影を落としている。「くそ、色々と我慢してきたのに・・・」世の中の人々が、必死でコロナと戦い、生活を守ろうとしている。その代表者が、親ではないかと思う。コロナ禍で、仕事が激変して、くたくたの体を引きずりながら頑張る親。収益が上がらず、経済危機を何とか乗り越えようとする親。そんな親をまじかに見ている中学生の自分には何ができるのか?もちろん仕事をして、お金を稼いだりして父母を助ける事はできない。それなら・・・何?・・・一つは、「笑顔」である。鎌倉時代の高僧が「親によき物を与えると思って せめてする事なくば 一日に二三度えみて向へとなり」(親に親孝行をしようと思うが、よい贈り物がない、またできる事がない時、一日のうちに二~三度親に笑顔を見せなさい)と述べている。親にとって、子どもの笑顔は安心と元気を与えてくれる源である。仕事での疲れや悩みを、明日へのバイタリティへと変えてくれる源である。



次に「ありがとう」の一言である。1日何回親に「～してくれてありがとう」と言えるか?一回、二回?本当は数えきれないくらいの「ありがとう」のなかで、生活をしている。しかし、身近であれば身近である程、「ありがとう」を伝えることを忘れている。



どうだろうか、 今日から、「～してくれてありがとう」の言葉を添えて、1日数回親に笑顔を見せてみては。「急にどうしたん?」「熱あるん?」と不思議がられるかも分からぬが、そういう親も笑顔であるにちがいない。そして、その親の笑顔を益々、輝かせるには何ができるだろうか???

そうです 進路に向けて頑張る姿を見せることである!!

いよいよ今月の末から進路懇談が始まる。第1回実力テストもある。まだまだ自分の進路目標が定まっていない人が多いと思う。しかし、進路選択の基本中の基本である学力は、日々つけていかなければならない。それならば、今までの学生生活において、「最高の学習態度」を見せていくうではないか。

その姿勢を親は必ず見ている。笑顔と共に

笑顔 ありがとう 最高の学習態度

この三つで、コロナを進路を乗り切ろう!!

